

# 抱樸館を支える会 会報

42号



2020年6月1日発行:抱樸館を支える会

厨房の仕事もヘルパーの仕事も充実しています。

～いつかは卒業生にお弁当を届けたい～

抱樸館福岡では2010年5月の開所以来、

「家庭的な食事を入居者に味わっていただきたい」との思いで食事を提供しています。



抱樸館福岡の入居者を食の面から支援している厨房

の副責任者の山村悦子さんにお話を聞きました。

――抱樸館ではいつから働かれていますか。

「2011年に福岡市の事業で『福岡絆プロジェクト』というのがあり、そのスタッフとして働いていました。抱樸館の入居者への相談員として活動しながら、地域で生活に困窮している方々への相談員としても活動していました。内容は役所等の手続きや病院同行などの日常生活における支援を行っていました」

――福岡絆プロジェクトに参加したきっかけを教えてください。

「グリーンコープで10年ほど組合員活動をしていて、最後は福祉委員会で活動していました。抱樸館福岡が建設予定のところまで反対にあい建設が中止となったことも承知していましたし、博多に住んでいるのでホームレスは身近に感じていて、漠然とこのような仕事に関わりたと思っていました。そんな時、組合員事務局でスタッフ募集の話聞いてプロジェクトに参加しました」

――具体的にはどのような仕事をされていたか。

「抱樸館の入居者だけでなく、地域で生活して

いる方の相談員もして、10～12人くらいを担当していました。ケア会議によるプランに基づいてチームケアを実施していました。地域で生活をされている方の自宅へ訪問し、生活再建のお手伝いをしたり、新たな生活困窮者と出会うために、炊き出しを行っているNPO法人おにぎりの会やNPO法人美野島めぐみの家とも連携していました」

――抱樸館の入居者と地域の方の支援の双方を担うのはとても大変そうですね。

「とても忙しかったです。やりがいがありました。えにしの会(抱樸館福岡の卒業生の会)の最初の会長だった方との関わりは印象的です。入居しているときには館長と揉めたりされていましたが、その後、抱樸館福岡でカフェを立ち上げたときのメンバーになって、カフェのマスターも担当いただきました。その後、厨房の洗い場のスタッフとしても働いて、最終的にはえにしの会の会長を3年間やっていました。最近では新型コロナウイルスの影響もあってお会いしていないので、元気にされているか心配しています」



――支援している方がお亡くなりになったそうですが。

「私が担当していた地域で生活している方のうち、お二人がご自宅で亡くなった後に発見されたことがありました。おひとりはお風呂で

亡くなっている所を訪問看護の方と一緒に発見しましたが、そのような場面に遭遇したのは初めてだったのでとてもショックで、『死』というものを身近に感じるようになりました。でも、最後はご家族にお亡くなりになったことをお伝えすることができて、ご家族からは感謝の言葉をいただき、少しでも役に立ったということで救われた気がしました」

「抱樸館の入居者も抱樸館を退居されてからが本当の意味でのスタートですし、家で安心して過ごしてもらいたいという思いもあり、このような経験もあってグリーンコープのヘルパーの仕事をすることにもつながったと思います」

――抱樸館の厨房の仕事と並行して、隣のふくしセンター多の津の訪問ヘルパーとしても働かれていますよね。

「プロジェクトが終わって、グリーンコープの福祉委員会でも一緒に活動していた厨房の責任者の蛭子さんや当時の館長からの誘いもあって厨房の仕事を始めました。そして、厨房の仕事を始めて4か月後には介護職員初任者研修を受けて、ヘルパーになりました。現在、ヘルパーとして抱樸館の卒業生5名の担当をしています。抱樸館に入居しているときのことをも知っていたので、安心して生活できるようにサポートしています」

――ヘルパーの仕事を通じて抱樸館福岡の卒業生への支援も行っているということですね。

「生きづらさを抱えている方もいて、その方々が安心して生活できるようにサポートしたいですね。皆さん、私が抱樸館の厨房で働いていることを知っているので『抱樸館は新型コロナウイルスは大丈夫だろうか』と心配してくださいませ。ヘルパー業務として食事を提供するのですが、『抱樸館の味や』と言われると嬉しく感じます。抱樸館の食事は私たちが家族に作る食事と同じように作っていますの



で、家庭的な食事を提供できることは嬉しく思います」

――抱樸館の厨房の仕事についてお聞かせ下さい

「食事と排泄は休みがありません。ヘルパーの仕事もそうですが抱樸館は入居者とともに365日24時間動



いている施設なので、朝食、昼食、夕食と人が少ない中で調理もしながら責任者の仕事もしながら、本当に大変です。でも、入居者から『おいしかったよー』と言われてたり、卒業生が食事を食べに来て顔を見せてくれることなど、嬉しいこともたくさんあります」

「私は、厨房の仕事もヘルパーの仕事も両方が好きで、うまくバランスを取っていると思います。やりがいもとてもあります。抱樸館で作ったレシピを訪問支援の現場で披露することもできますので厨房の仕事がヘルパーにも役立っているんです」

――今後、やりたいことを教えてください。

「卒業生の方に食事（お弁当）を届けたいですね。新型コロナウイルスの件もあって、卒業生の方の一部にはお弁当を作って提供しています。いまは、厨房スタッフが少ないのですが、もう少しスタッフができれば、手作り弁当を自宅に届けたいですね」

「入居者には抱樸館の食堂でお腹いっぱいになっていただけますが、地域で生活している方の食生活も心配です。手作り弁当をお届けして、地域生活の様子等を見守りしながら、お弁当でおなか一杯になって欲しいです。グリーンコープのメーカーや生産者の方から提供いただいた食材を使って、家庭的な食事をご自宅にお届けできればと考えています」



抱樸館福岡自慢の手作り弁当

――ありがとうございました。

## いただいた食材を大切にして季節感や温かさを感じられる 食事の提供に努力しています!

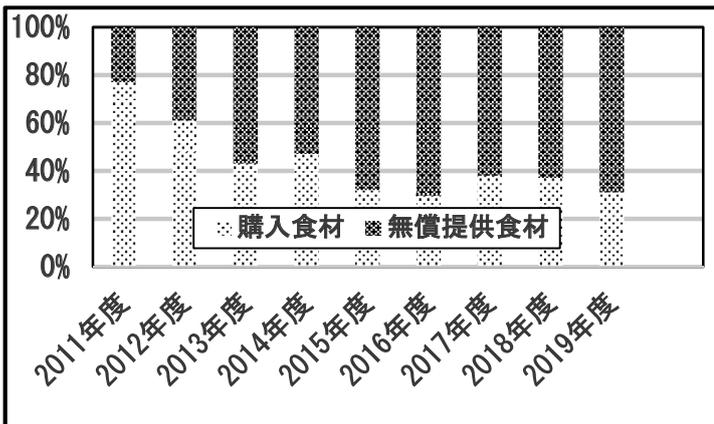
抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から提供いただく食材に支えられています。

### 毎年、6～7割の食材を無償提供 いただいています。

抱樸館福岡が開設されたのは、2010年5月です。今年で10年が経過しました。

当初、食材はすべて購入していました。居室が満室の場合の食材費は年間1200万円位でした。

2012年1月にグリーンコープの取引先に食材提供をお願いしました。多種多様な商品を作っている生産者・メーカーから、たくさんの食材を提供いただけるようになりました。入居人数を勘案した食材の購入比率（購入食材：無償提供食材）は以下ようになっており、6～7割の食材を毎年提供いただいています。



### 2019年度は購入食材を減らすことができました。

2018年度に引き続き購入食材を減らすことができました。2019年度の購入額は約270万円で、前年よりも約60万円減らすことができました。無償でいただいた食材はほとんど変わりませんが、購入食材の約4割を占める、お米の提供が増えたことや夏場に入居者が少なくなったことで、市販からの購入が減少した結果と考えています。市販品の購入を全く無くすことは、必要な食材や調味料のタイムリーな購入や野菜の端境期など、難



しい面はあります。グリーンコープの生産者やメーカーの方々のご協力によるところが大きいと言えます。また、土用の丑の日にうなぎを提供したり、クリスマスに合わせたメニューを工夫したり、大晦日にはすき焼きを、元旦にはお雑煮、お節を用意するなど、季節の行事に合わせた料理も提供しています。



上段：お節  
下段：雑煮

この様に工夫を凝らし、入居者に季節感や家庭に居るような温かい雰囲気を感じていただけるようにしています。そのような取組みを重ねつつ、市販品の購入を減らせたことは、本当に皆様からの提供のおかげと感謝しています。



### 2019年度は、59のメーカー・生産者 から、無償提供いただきました。

青果の8割くらいは生産者から無償で提供いただいています。無償提供いただいている青果は小玉などの規格外青果が中心です。パレィショ、玉ねぎ、人参、きゅうり、椎茸、えのき茸は年間を通していただいています。



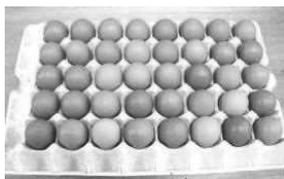
この品目以外の根物（大根、紅心大根、カブ、里芋、生姜、ごぼう、さつまいも、など）、葉野菜（白菜、グリーンボール、キャベツ、レタス、ブロッコリーなど）、果菜類（きゅうり、なす、トマト、ピーマン、スイートコーン、かぼちゃ、にがうりなど）、果物（みかん、晩柑、小玉すいか）をいただいております。旬の時期には工夫を凝らして、いただいた野菜をいろいろなものに使っています。



グリーンコープの生産者から提供される野菜は味が良いので、入居者に大好評です。

**たまご**は、たまごの生産者から毎週30kgを無償提供いただいています。

たまごはよく使う食材です。抱樸館福岡で使うたまごはすべて無償提供いただいております、本当に助かっています。



**調味料**では、年間を通じて味噌・醤油はグリーンコープの取引先からの無償提供分でまかなえています。味噌・醤油は基本的な調味料で、味の決め手なので、とても助かっています。

年間に無償提供いただく味噌は約700kg、醤油は約300リットルになります。



それ以外の調味料ではケチャップ、ソース、ポン酢、ドレッシングなどを無償提供いただいております。

**豆腐や油揚げ**、豆腐は毎週60丁(×300g)無償提供いただいております。揚げも不定期に無償提供いただいております。豆腐・揚げ類は、すべて無償提供いただいております。

**納豆**は朝食に大好評です。これも現在では無償提供いただいた納豆だけでまかなえています。



**練り製品**(天ぷら類など)は毎週定期的に無償提供いただいております、購入することはありません。



**ハム・ソーセージ**は、GCハム・ウィンナー・ベーコン規格外を無償提供いただき、購入する必要はなくなっています。



**こんにやく**は毎月定期的に無償提供いただいております、購入する必要はありません。

**漬物**はたくさんの種類を無償提供いただいております。食事の際、入居者が自由に食べられるようにしています。

**パン**は週に2回はパン食です。メインの食パンはメーカーより継続して毎週無償提供いただいております。

**お米**は食材費の中の約3割を占めています。2

019年度は、昨年の1.5倍以上のお米を無償でお届けいただきました。在庫過剰になる場面もあり、次年度からは在庫の管理にも注意を払います。8取引先(生産者など)と取引先ではありませんが支える会会員の方など2名の方から合計2,970kgを無償提供いただきました。必要なお米の半年分の必要量に相当します。



**その他の食材**ではあじの開き、めごちの開き、味付け数の子などの魚介加工品、お餅類、八方だし、にんにくみそ、鶏めしの素、山芋鉄板焼きの素などの調味料や加工品、冷凍チャーハン、ベーコンブロック、ローストビーフなどの冷凍加工食品、こんにやくゼリー、チーズパイなどのお菓子、漬物類などを提供いただいております。

**グリーンコープ連合**の農産部や青果リパック事業部からは、予備品や規格外の小松菜、春菊、スナップエンドウ、かぼちゃ、たまねぎ、レタス、バナナ等を提供いただいております。また他の部署からも冷凍食品、ドライ商品、お菓子等をいただいております。

**提供いただいている取引先名・生産者名**は、感謝を込めて1年分をまとめて、抱樸館福岡の食堂にお名前を紹介させていただいております。

### 厨房職員の工夫で美味しい食事になります。

食材は計画的にいただいているもの、長期保存できるものだけではありません。「予期せぬ嬉しい提供」もあります。同じ品目たくさん提供いただく場合や、賞味期限が迫っているものもあります。



例えば人参が多いときにはカレーにすりおろして入れたり、人参の炊き込みご飯にしたりします。甘みを感じる彩りの良い人参の炊き込みご飯は好評です。

目に見えて毎食同じ食材が続くと、入居者も飽きを感じてしまうことがあるので、厨房ではいただいた貴重な食材を入居者に喜んで食べてもらえるよう日々工夫をこらしています。

提供いただいている食材は抱樸館福岡になくはないものになっています。ありがとうございます。

## 抱樸館福岡の池田館長にインタビューしました！ ～抱樸館福岡では新型コロナウイルス感染防止を徹底しています～

昨年10月に抱樸館福岡の館長として着任された池田猛さんに話を聞きました。

――長崎県出身ということですが、グリーンコープとの出会いを教えてください。



「高校まで長崎県佐世保市で生活していました。大学卒業後、北九州市の建設会社で働きました。結婚を機に長く働くことがで

きる職場を探しているときに、共生社生協北九州（現在のグリーンコープ生協ふくおか）に出会い1993年に就職しました」

「北九州エリアを中心に勤務し、小倉南支部、小倉北支部等で責任者として働いていました。その後、2018年に初めて福岡エリアのファイバーリサイクルセンターに異動し、職員事務局の責任者をしていました」

――生協の現場からファイバーリサイクルセンターに異動となると畑がまったく違いますよね。

「初めての福祉ですので、最初は戸惑いもありました。ただし、支部で働いているときに特別養護学校からの紹介でグリーンコープで働いている人がいて、そのような方の支援をしていたこともあり、ファイバーリサイクルセンターの就労支援にはスムーズにかかわることができました。生協の現場では結果が明確に分かりますが、福祉の現場では、時間が経ってから『支援してよかった』と気づくこともありました」

――その後、抱樸館の館長となったわけですが、抱樸館の最初の印象はどうでしたか。

「入居者、卒業生、職員と、これまでに出会ったことがない方々を目の当たりにして、『自分に何ができるんだろう』と思いました。それでも相談員が話す言葉を聴いて少しずつ勉強し、障がいのことも少しはわかるようになりました」

「8ヶ月が経過しましたが、経験のある相談員や責任者の中で、今でも『自分自身が仕事を

できているのか』と自問自答していますが、ようやく最近いろいろと判断がつくようになってきました」

――入居者の支援もあり、卒業生の支援もありますが、支援についてどのように考えますか。

「ファイバーリサイクルセンター時代から関わりがあった方が残念な結果で退居せざるを得ないことがありました。どこかで孤独を感じていたのかなと思いました。卒業生にも独りで寂しくて酔っ払って電話してくる方もいます。入居者だけでなく、卒業生も含めて『孤独』にならないような支援が大切だと思います」

「入居者の支援については、相談員の皆さんが専門ですので別の視点で支援を行いたいと考えています。以前、入居者の方が居室で亡くなったこともあり、抱樸館福岡という施設は常に『死』と隣り合わせであるを意識しています。今回の新型コロナウイルスの対策を徹底しているのも、入居者の生命を守るということを最優先にしているからです」

――仕事をする上で悩みはありますか。

「まだ、慣れていないと感じるのですが、入居者や卒業生と普通に話しているのに、急に態度が豹変することもありたりするので、驚くこともあります。このようにストレスを感じる仕事ですので、相談員のストレス緩和など精神的なケアはとても大切だと思いますので、そこをカバーする仕組みが必要と考えています」

――嬉しかったこともあったとか。

「館長になって、見えないプレッシャーもあり、しんどい時期もありましたが、食材を提供してくださる生産者・メーカーの方に『大変だと思いますが、頑張ってください』と声を掛けられたときは本当に嬉しかったです。また、見学に来られた方から声を掛けられたときには、抱樸館福岡という施設の必要性を身にしみて感じました」

――今後、やりたいことを教えてください。

「若者に関しては、就労することを意識した支援を行いたいと考えています。万一、くじけそうな時があっても、抱樸館がバックアップするからチャレンジしてほしいです」

「また、全ての入居者についてですが、退居するとき、新しい生活をスタートするときは、幸せな気持ちで退居していただきたいと思えますので、そのような支援ができる抱樸館福岡でありたいと思います」

――ありがとうございました。

## 抱樸館福岡が取り組む 新型コロナウイルス感染防止対策

――抱樸館の新型コロナウイルス対策について教えてください。

「抱樸館福岡の入居者のうち、約6割の方が60歳以上です。新型コロナウイルスは高齢者が感染すると重篤化しやすいと言われていたり、若くても疾患をお持ちの方も入居されていますので、抱樸館福岡では、感染防止対策を徹底して行っています」

### ① 入館制限を行っています。



○ 抱樸館福岡は入居者や卒業生の出入りだけでなく、生活保護を担当するケースワーカー、不動産会社の担当者、シーツ交換の業者など、たくさんの人の出入りがあります。抱樸館では3月4日より入館制限を行い、現在もまだ継続中です。6月末までは現在の状態を続ける予定です。

○ ただし、抱樸館を出て地域で生活している卒業生の方が館内に入れられないため、地域生活の支援を普段以上に徹底して実施しています。卒業生の様子を確認するために電話を掛けて、体調の変化が無いか、困っ



たことは無いか等の聞き取りも行っています。

### ② 食堂の椅子を間引きし、対面で食事をしないようしています。また、食堂での会話をご遠慮いただいています。



○ 入居者の楽しみのひとつである食事ですが、会話をご遠慮いただいています。食堂にはBGMだけが流れ、会話はなく、少し寂しい気もしますが、いまは自らの身を守るためにもご協力いただいています。



○ 食事を渡す厨房スタッフはマスクとゴーグル着用を徹底しています。食器を下げる洗い場も入居者と対面してしまうため、フェイスシールドを着用しています。



### ③ 朝夕2回の検温を実施しています。

○ 入居者の体調管理はとても大切です。不要不急の外出は避けるようにしていますが、人との接触を100%遮断できませんので、毎日、事務所の小窓で検温を実施しています。



### ④ 人と対面する場所には、飛沫防止のためにアクリル板を設置しています。

○ これまで毎月一度の生活保護の受給日は、入居者、卒業生ともに、入金を行うため長蛇の列ができていました。ソーシャルディスタンスを確保すること、卒業生の入金は別部屋で午後から行うことで密を避けるようにしています。



## ⑤ 1日6回の換気の案内と施設内の除菌作業を行っています。

- 除菌作業が一番体力がかかっています。しかし、やりすぎて悪いことはありませんし、いまは緊張感を継続するためにも必要です。



- 1日6回、ドアノブや階段の手すり等の除菌作業をみんなで手分けしながら実施しています。



## ⑥ 密を防止するため、館内のプログラムをすべて中止しています。

- 体力低下を防ぐためにラジオ体操は各自の部屋で行っています。職員も密を避けるために一定の距離を保っています。

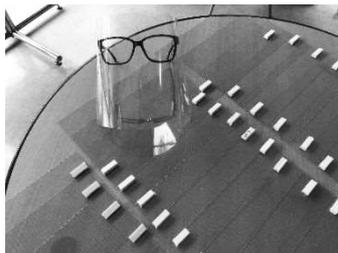


- 抱樸館では、入居者が参加するプログラムだけでなく、卒業生が参加するプログラムもたくさんありますが、これもすべてを中止しています。



- 6月からは屋外で行うプログラムを一部解禁し、また、散髪ボランティアによる入居者の散髪を解禁しました。

- 館内プログラムの一部解禁に伴い、入居者によるフェイスシールドづくりを行い、社会福祉法人グリーンコープの福祉施設に提供したいと考えています。



## ⑦ 屋外のプログラムも中止しています。

- 抱樸館福岡の毎夏恒例のアサガオによるグリーンカーテンも今年は中止しました。この写真は、アサガオを植える予定だったプランターです。



- また、発足して5年目を迎える園芸部も最小限の野菜しか植えていません。今年の中庭は少し寂しいですが、来年の楽しみにとっておきます。



## ⑧ 体制確保に努めています。

- 抱樸館福岡は24時間365日稼働している施設なので、職員が感染した場合、支援が滞る恐れがあります。したがって、テレワークや時差出勤の導入、執務室を分けることで、万一、職員から感染者が発生した場合のリスク回避を行っています。



## ⑨ 注意喚起を徹底しています。

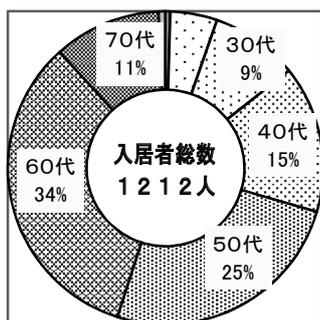
- 館内放送だけでなく、掲示物による注意喚起を行っています。
- 入居者の中には字を読めない方もいますので、文字だけでなく、イラストでわかるような案内も掲示しています。



——入居者を守るための感染防止対策がよくわかりました。引き続き、がんばってください。ありがとうございました。

## 抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2020年4月末までの入居者数



年代	人数	割合
10代	6	0.5%
20代	60	4.9%
30代	108	8.8%
40代	185	15.1%
50代	309	25.3%
60代	410	33.6%
70代	135	11.0%
80代	9	0.7%
計	1222	100%

2020年4月末現在の入居者

59人(定員81名) 男性58名、女性1名

2020年3～4月の新入居者数・退居者数

新入居者数12名 退居者数18名

(注: 4月末までの入居者数1222名は、  
2度・3度入居した人も1名と数えています。)

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

### 抱樸館福岡の見学のご案内

- グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申送ください。
- 個人もしくは知り合いと一緒に

に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。  
◇出来れば5名以上でお願いします。(ホームページからも見学の申込が出来ます)

なお、1名あたり1000円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

## 抱樸館を支える会の概要

### 抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日: 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員: 以下の17団体が正会員です。

- グリーンコープの各単協(14生協)
- グリーンコープ連合会
- NPO法人 抱樸(旧: 北九州ホームレス支援機構)
- 社会福祉法人グリーンコープ

### 賛助会員

2020年4月末の賛助会員は、以下の通り

- グリーンコープの共同購入組員 9, 300名
- グリーンコープの店舗組員・一般の方 167名
- 企業賛助会員 104社

### その他(抱樸館の所在地)

- 抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年 5月開所
- 抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年 9月開所
- 抱樸館下関: 新たに開設を準備中
- 抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

## 抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

### 抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。  
賛助会員には、会報をお届けします。

#### グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく(年間で3000円です)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- ②1口1000円の賛助会費を申し込みいただく。

何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。(グリーンコープの共同購入組員の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
- ②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

### 一般の方、グリーンコープの店舗組員

1口1000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

### 企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

### 「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

電話 092-482-1964

### 抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)

〒860-0811 熊本市中央区本荘